

パナソニックシステムネットワークス株式会社

農業生産性向上による新たな農業担い手の確保

課題

- ① 農家人口の減少と農業従事者の高齢化で新たな農業の担い手確保が急務。
- ② 農業ICT化による生産性向上に不可欠な気温、降水量、日照時間、風向風速の観測所は、気象庁による全国約840か所※1の設置にとどまる。
- ③ 一般的に農作業の生産技術確立は不十分で、産業としての競争力向上余地が大きい。
- ④ 農業参入には、経験、ノウハウなどの暗黙知を必要とし、参入障壁が高い。

※1 気象庁HPより

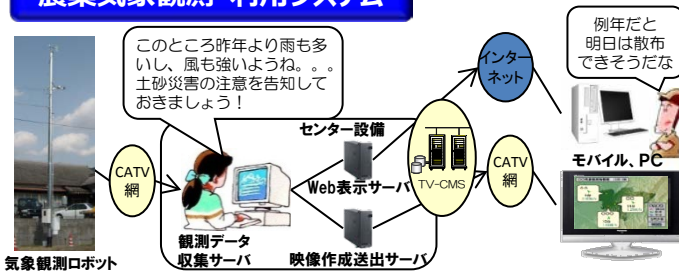
提案内容

- ① 農業気象観測・利用システム
気温、降水量、日照時間、風向風速、湿度に加え、地中温度、地表温度、積雪量、気圧も計測。地域密着のきめ細かな情報を収集。農作業履歴との照合も可能。
- ② 農業見える化システム
カラーバーコードを写真で撮影するだけで、時間管理、農作業の工程管理、農産物の出荷管理を実現。IT機器の苦手な方でも簡単に操作。

成果・効果

- ① 地域密着のきめ細かい気象観測と履歴管理で、当該年の最適な生産スケジュール管理を行い、農産物の質の向上に寄与。地域の気候に最も適した農産物、品種の検討が可能。
- ② 農作業の見える化で、生産コストを低減し、生産性向上。農業の社会的イメージ向上。
- ③ 経験やノウハウに頼らない仕組み構築で、農業の新たな担い手の参入を促進。

農業気象観測・利用システム



農業見える化システム



<お問い合わせ先>

パナソニックシステムネットワークス株式会社
パナソニックシステムソリューションズジャパンカンパニー
公共システム本部 公共推進室

TEL:03-5148-5504

平湯: hirayu.hiroshi@jp.panasonic.com

林: hayashi.munenori@jp.panasonic.com